

2017年3月期 第2四半期 決算説明資料

2016年11月9日
サイバーコム株式会社
東証一部 <3852>

1. 決算概要	p 3
2. 営業利益増減分析	p 4
3. セグメント別業績	p 5
4. 貸借対照表	p 7
5. キャッシュ・フロー	p 8
6. 業績予想	p 9
7. 株主還元（予想）	p 10
8. 中期経営計画	p 11
9. 参考資料	p 12

当資料の利用に関して

当資料は、投資家の投資の参考となる情報提供を目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

また、業績予想に関する記述は、当社が当資料発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

1. 決算概要

2017年3月期 第2四半期実績

(単位：百万円)

	前期 (15/04-15/09)	当期 (16/04-16/09)	増減／前期比	
売上高	4,269	4,657	387	9.1%
営業利益	259	268	9	3.7%
営業利益率	6.1%	5.8%	—	—
税引前 四半期純利益	266	290	23	8.9%
四半期純利益	172	196	23	13.7%
四半期純利益率	4.0%	4.2%	—	—
1株当たり 四半期純利益	21.55円	24.50円	2.95円	—
ROE (自己資本当期純利益率)	4.8%	5.1%	—	—

※当社は16/03期の9月1日付けをもって、普通株式1株につき2株の割合で株式分割しております。
前期の1株当たり四半期純利益は当該株式が前期の期首に行われたと仮定して算出しております。

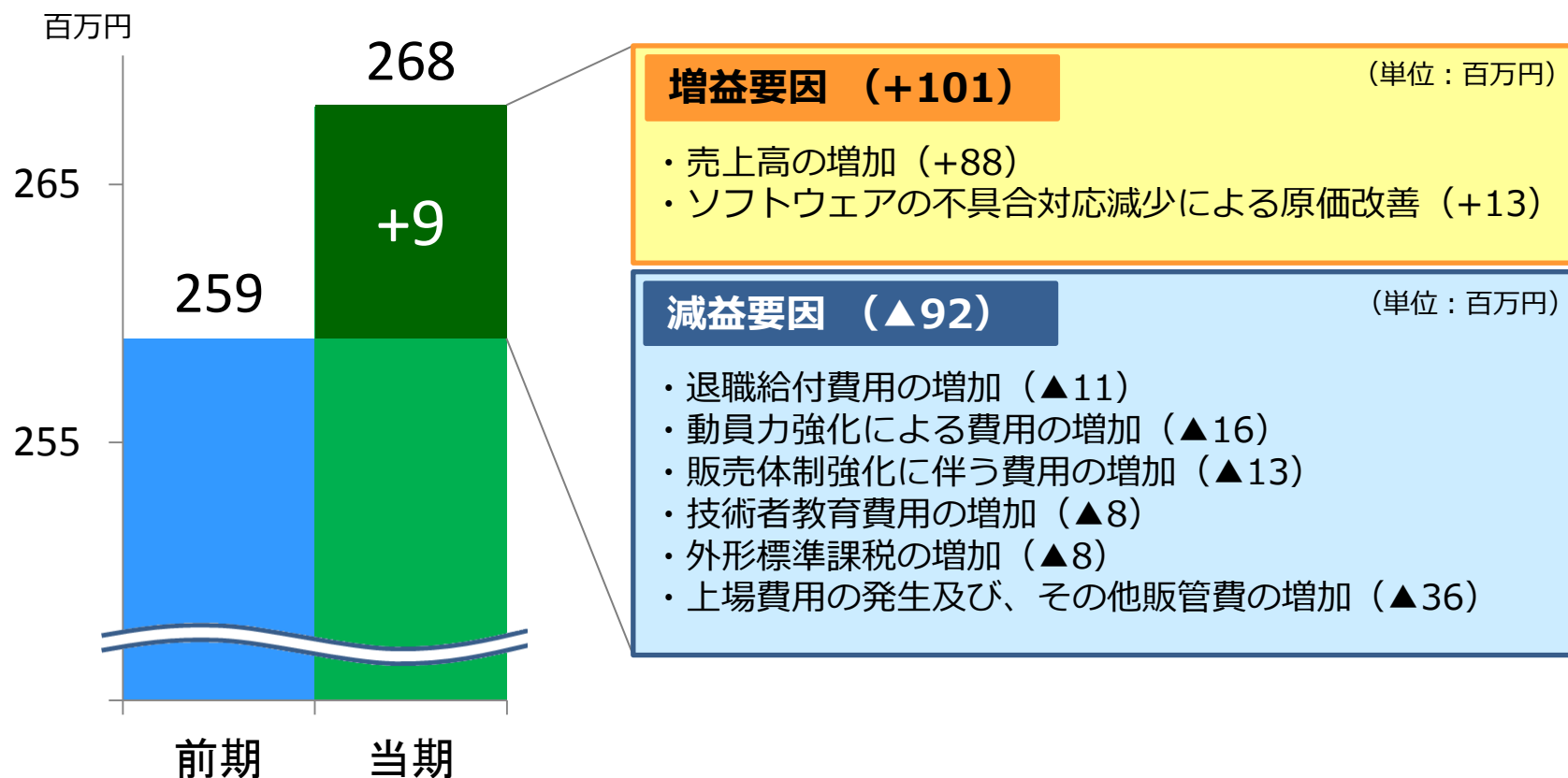
◇売上高は、主力のソフトウェア開発事業が好調に推移し46億57百万円(前年同期比9.1%増)と増収になりました。

◇営業利益は、退職給付費用の増加に加え、動員力強化や技術者教育等の先行投資に伴い販管費が増加しましたが、増収効果により2億68百万円(前年同期比3.7%増)と増益になりました。

◇四半期純利益は、助成金収入による営業外収益の増加により1億96百万円(前年同期比13.7%増)と増益になりました。

2. 営業利益増減分析

2017年3月期 第2四半期実績

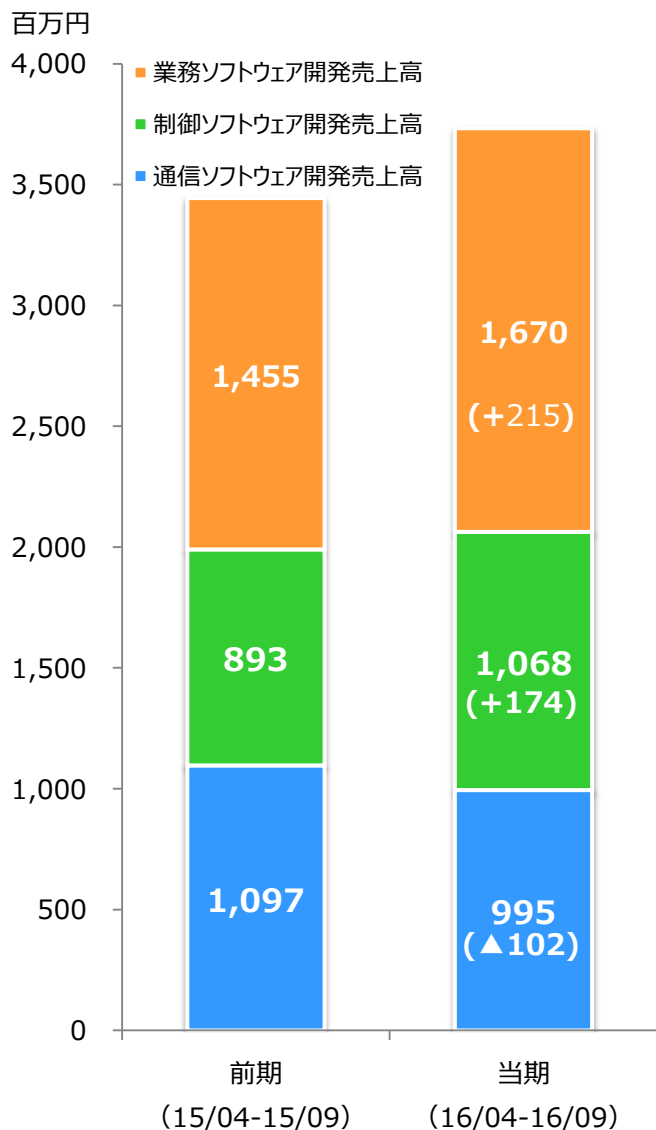


◇営業利益の増加要因

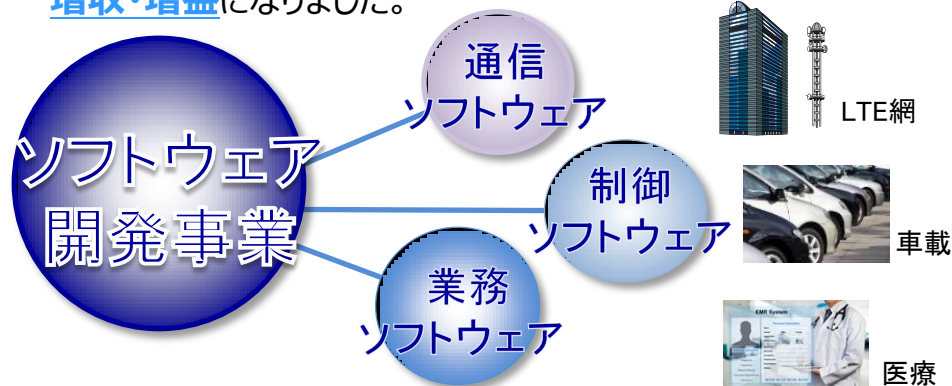
退職給付費用の増加に加え、動員力強化に向けた積極的な採用活動や、販売体制強化に向けた営業要員の増強、技術者教育の強化等により費用が増加しましたが、新規顧客開拓に向けた受注活動の推進や成長分野への積極的な営業展開を図り増収を確保したため増益となりました。

3. セグメント別業績

ソフトウェア開発事業



●売上高は 37億34百万円（前年同期比 8.3%増）、営業利益は5億47百万円（前年同期比12.2%増）と増収・増益になりました。



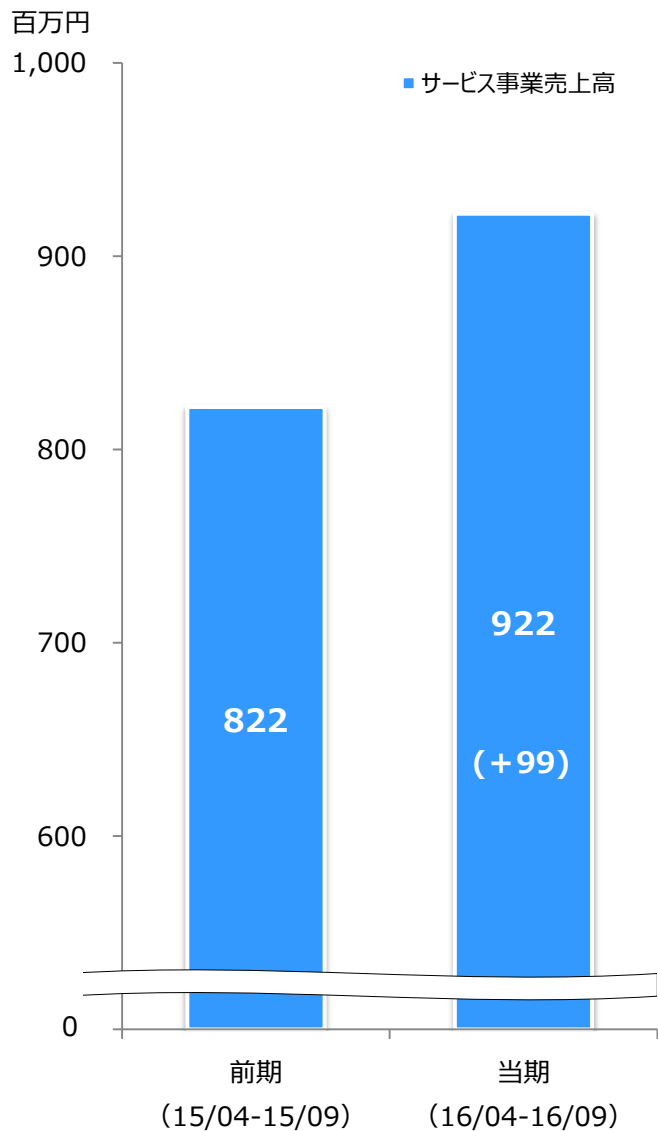
◇通信ソフトウェア開発は、通信キャリア向けシステム案件が大幅に減少し、好調分野への要員シフト等の影響もあり、売上高は9億95百万円（前年同期比 9.3%減）、営業利益は1億60百万円（前年同期比 14.1%増）と減収・増益になりました。

◇制御ソフトウェア開発は、自動車関連の案件が好調に推移し、売上高は10億68百万円（前年同期比19.5%増）、営業利益は1億43百万円（前年同期比2.5%増）と増収・増益になりました。

◇業務ソフトウェア開発は、企業向け業務システム、医療向けシステム生保システム、電子マネー・クレジット決済システム開発案件等が好調に推移し、売上高は16億70百万円（前年同期比14.8%増）、営業利益は2億43百万円（前年同期比17.4%増）と増収・増益になりました。

3. セグメント別業績

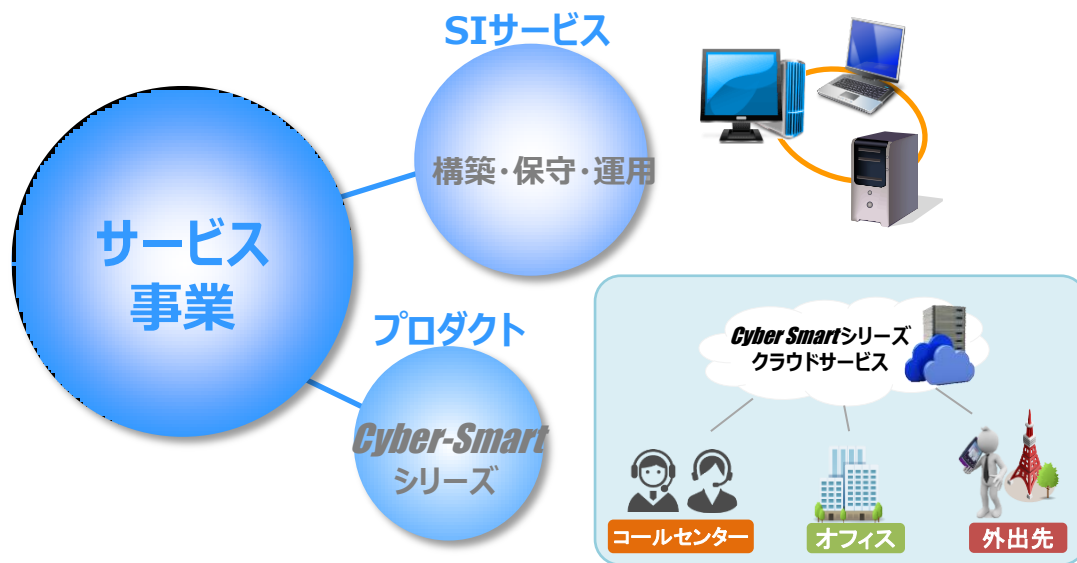
サービス事業



●売上高は 9億22百万円（前年同期比12.1%増）、
営業利益は1億10百万円（前年同期比 6.7%増）と
増収・増益になりました。

◇SIサービスにおいては、
クラウド化対応案件や通信キャリア向けネットワーク構築案件に
加え、保守・運用・評価検証案件も堅調に推移いたしました。

◇自社プロダクトにおいては、**Cyber Smart** シリーズ製品の
クラウドサービス提供によるラインナップの拡充に加え、
コールセンター構築案件に対する**Cyber IP-PBX**の導入提案に
よる販売強化に取り組んでまいりました。



4. 貸借対照表

貸借対照表のポイント

(単位：百万円)

	前期末 16/03	当期末 16/09	前期末差
流動資産	5,709	5,537	▲172
現金及び預金	992	887	▲104 ^①
受取手形及び売掛金	2,009	1,930	▲78
棚卸資産	62	68	6
短期繰延税金資産	204	152	▲52
短期貸付金	2,389	2,439	49
その他	51	58	7
固定資産	798	820	22
有形固定資産	265	264	▲0
無形固定資産	77	81	4
投資その他資産	455	474	18
資産合計	6,508	6,358	▲149
流動負債	1,370	1,080	▲289
買掛金	286	258	▲27
未払費用	193	166	▲27
未払法人税等	120	73	▲47 ^①
未払消費税等	89	74	▲15 ^①
賞与引当金	510	405	▲104
その他	169	101	▲67
固定負債	1,320	1,368	▲47
退職給付引当金	1,294	1,353	58
役員退職慰労引当金	26	15	▲10
負債合計	2,691	2,449	▲242
純資産合計	3,816	3,909	92^②
負債純資産合計	6,508	6,358	▲149

◆主な増減要因

- ①現金および預金（前期末差 ▲1億4百万円）
未払法人税等（前期末差 ▲47百万円）
未払消費税等（前期末差 ▲15百万円）

前年度分の法人税や消費税等を納付した（負債が減少）ことにより現金および預金が減少しました。（手持ち資金が減少）

- ②純資産合計（前期末差 +92百万円）

剰余金の配当（1億4百万円）があったものの、当期純利益1億96百万円により増加しました。

5. キャッシュ・フロー

キャッシュ・フローのポイント

(単位：百万円)

	前期 (15/04-15/09)	当期 (16/04-16/09)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲35	75	111
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲3	▲75	▲71
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲87	▲105	▲17
現金及び現金同等物の増減額	▲125	▲104	21
現金及び現金同等物の期首残高	926	992	65
現金及び現金同等物の期末残高	801	887	86

◇営業活動によるキャッシュ・フロー

賞与支給や法人税等の支払に伴う支出があったものの、税引前四半期純利益の増加により75百万円の収入（プラス）となりました。

◇投資活動によるキャッシュ・フロー

社内システム増強等の設備投資による固定資産取得や、CMS（キャッシュ・マネジメント・システム）を利用した余剰資金の運用等により75百万円の支出（マイナス）となりました。

◇財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払いを行い1億5百万円の支出（マイナス）となりました。

6. 業績予想

2017年3月期 予想

(単位：百万円)

	当期実績(2Q) (16/04-16/09)	業績予想(2Q) (16/04-16/09)	増減/予想比		業績予想(通期) (16/04-17/03)
売上高	4,657	4,613	44	1.0%	9,400
営業利益	268	248	20	8.4%	506
営業利益率	5.8%	5.4%	—	—	5.4%
税引前 四半期(当期)純利益	290	251	39	15.8%	512
四半期(当期)純利益	196	165	31	19.1%	355
四半期(当期)純利益率	4.2%	3.6%	—	—	3.8%
1株当たり純利益	24.50円	20.57円	3.93円	—	44.25円
ROE	5.1%	—	—	—	—

※当社は16/03期の9月1日付けをもって、普通株式1株につき2株の割合で株式分割しております。

1株当たり純利益は当該株式が当期の期首に行われたと仮定して算出しております。

◇売上高は、主力のソフトウェア開発事業が好調に推移し 46億57百万円 (業績予想比 1.0%増)と増収になりました。

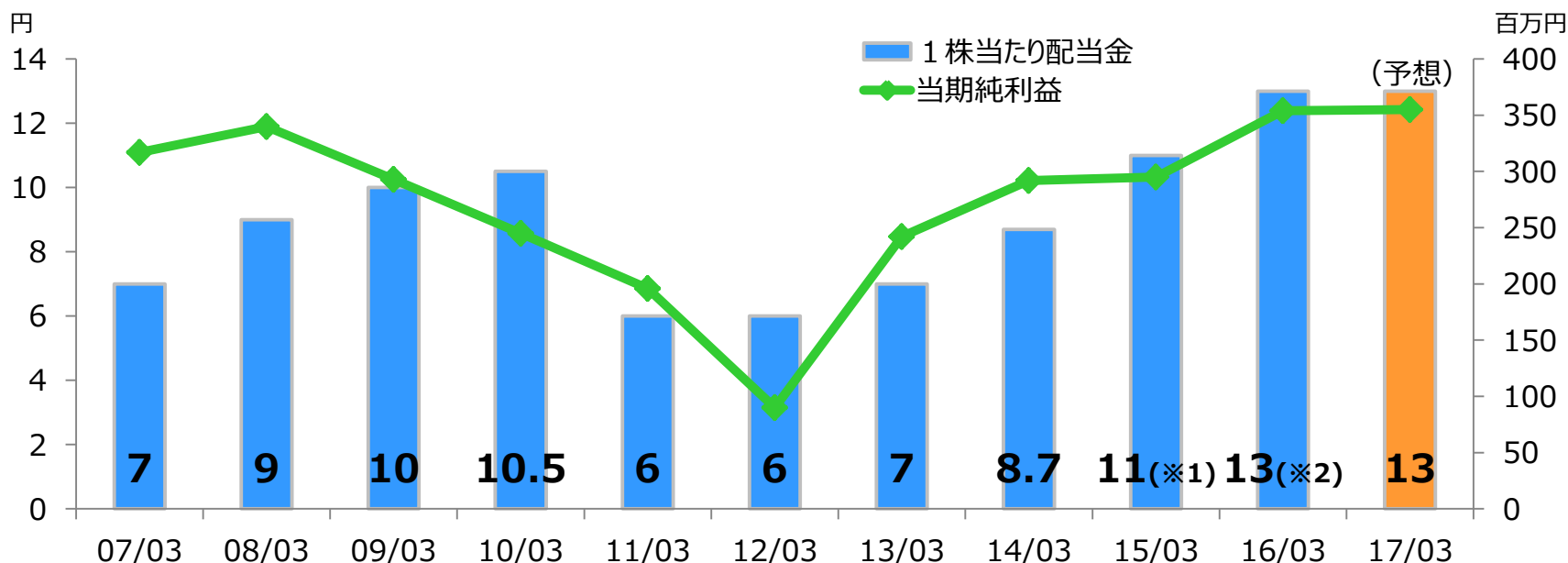
◇営業利益は、増収の影響に加え販管費の減少により 2億68百万円 (業績予想比 8.4%増)と増益となりました。

◇四半期純利益は、助成金収入による営業外収益の増加により 1億96百万円 (業績予想比 19.1%増)と増益となりました。

※通期の業績予想につきましては、2016年5月11日発表の業績予想のとおり変更ありません。

7. 株主還元（予想）

配当金（年間）：1株につき13円
（配当金総額：104百万円 配当性向29.4%）



* 当社は16/03期の9月1日付けをもって、普通株式1株につき2株の割合で株式分割しております。

1株当たり配当金は07/03期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出しております。

※1普通配当 9.5円 + 二部上場記念配当 1.5円 ※2普通配当 11.5円 + 一部上場記念 1.5円

将来の事業展開と経営体制の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、『安定した配当』を継続して実施していくことを基本方針としております。

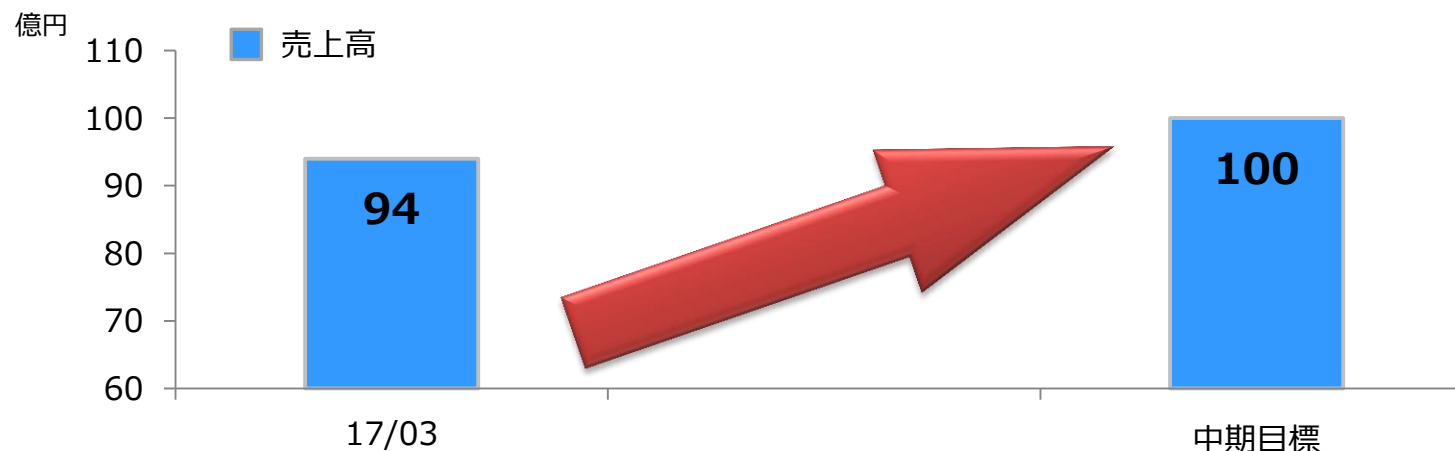
内部留保資金につきましては、今後予想される経営環境の変化に対応するための人材育成や経営情報システムの高度化への積極的投資、さらには、M & Aや新事業創出のための研究開発投資等に活用し、経営基盤の強化を図ってまいりたいと考えております。

上記方針に基づき、今期の利益配当につきましては1株当たり13円を予定しております。

8. 中期経営計画

目標とする経営指標

	当期目標 (2017年3月期)	中期経営目標
売上高	94億円	100億円以上
営業利益 OR 営業利益率	5億円	6%以上



◇配当政策

当社は健全なる利益の拡大と株主の皆様への利益還元を重視するとともに ROE（自己資本当期純利益率）の改善を推進してまいります。

◇設定した中期経営目標については、社会・経済情勢や業績を踏まえ毎年見直しを行ってまいります。

9. 参考資料

会社プロフィール

名称：	サイバーコム株式会社 Cyber Com CO.,Ltd.
所在地：	本店 宮城県仙台市青葉区一番町2-7-17 朝日生命仙台一番町ビル 横浜本社 神奈川県横浜市神奈川区西神奈川1-10-10
設立：	1978年12月4日
代表者：	代表取締役社長 渡辺 剛喜
資本金：	3億99百万円
社員数：	916名（2016年9月末現在）
事業内容：	ソフトウェア開発事業、サービス事業

2017年3月期の主なニュース

	内容
2016/10/25	固定資産の取得に関するお知らせ（弊社関内オフィスのビル及び土地購入、横浜本社オフィス及び東京オフィスの一部移転）
2016/10/11	『 Cyber Smart 』シリーズ製品を11月17日開催「コールセンター/CRM デモ&コンファレンス 2016 in 東京」に出展
2016/06/28	システム事業部 福岡オフィス移転のご案内（7月4日福岡新オフィス営業開始）
2016/05/20	役員の異動および執行役員制度導入に関するお知らせ
2016/04/12	東京証券取引所 市場第一部指定承認に関するお知らせ
2016/04/04	『 Cyber Smart 』シリーズ製品におけるクラウドサービスの提供開始